



理事長 森 光弘より 新年のご挨拶



十二支では、本年は巳年です。東洋では、脱皮を繰り返して成長するヘビは「復活と再生」を意味し「不老長寿」につながる縁起のいい動物と考えられています。また、蛇は餌を食べなくても生きながらえるため、「神の使い」として崇められてきました。

一方、WHOの紋章には、蛇が巻きついた杖が描かれています。この杖の名前を「アスクレピオスの杖」と言います。その起源は、古代ギリシャの神話で癒しの神として崇敬されたアスクレピオスの物語にあります。アスクレピオスは生前の功績と、病に苦しむ人々を救った心優しさが評価され、死後に医神として任命されました。そのため、古来、西洋では「蛇（医術）が巻き付いた杖」を、医学と医療従事者の象徴とされてきました。今日、世界中で「アスクレピオスの杖」のデザインを救急車に採用しています。

この東洋の「巳年」と西洋の「アスクレピオスの杖」の縁起は奇しくも、「2025年問題」として危機的将来を宿命づけられた日本の地で邂逅しました。

2025年、私たちは、コロナ禍をくぐり抜け、これから、復活と再生に向かう力強い第1歩を踏み出す、歴史的チャレンスの年と受け止めたいものです。

光寿会は、学習療法を通じて、一人ひとりの利用者様に光ある介護を実践し、『世界1』の介護を目指します。

十勝開拓の祖、依田勉三が入植して140余年が過ぎました、凍てついた大地に鍬を入れ、今を築きあげた祖父父母の

思いを受け止め、十勝プライドをもって進みましょう。



ホームページ・Instagramに施設の様子を更新しています！

デイケアの利用者様が作成したお正月壁飾り★

学習療法地域交流会

令和六年十一月十七日に「第29回学習療法地域交流会」を開催しました。今年度のテーマは「逆参観日」です。普段は、あまり見れない利用者様の学習療法の様子をご家族に見て頂きたく「逆参観日」を行いました。多くのご家族が参加され、利用者様とご家族の笑顔が絶えない素晴らしい時間となりました。これから学習療法を通じて利用者様の夢を見つけしていきます。



懐かしさを感じる
学校の雰囲気♪



学習療法を通して
夢を見つけました！



★逆参観日★

通所

令和六年十一月二十一日、デイケアでお料理リハとして「手打ちうどん」と「五目稲荷寿司」に挑戦しました。うどんは中力粉を練って足踏みと麺棒で伸ばしていき、仕上げに想像以上の力が必要で、完成したのは食事開始十分前でした。皆で協力して作ったうどんと稲荷寿司は、格別な味わいで、加された利用者様は色々な意味で自信が湧いたことと、思いが湧いたことと。



美味くな～れ♡



普段のハピ
よりきいね



入所

令和六年十二月二十三日、クリスマス会が行われました。クリスマス会では、職員の余興による「ハンドベルで「きよしこの夜」などが演奏されました。また、利用者様に手作りのクリスマスカードとスノードームがプレゼントされました。その日のおやつには「チョコレートケーキ」が提供され、一足早いクリスマスを楽しんでいました。

